

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスLUMO江上校		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各児童のニーズ・課題に最大限応える運動メニューの提供	児発管と指導員がコミュニケーションを密に行なうことで、各児童の強み・課題を共有しつつ知恵を出し合い、可及的速やかに運動メニューに反映するよう日々取り組んでいる。	曜日毎に児童の課題に沿った運動メニューを可視化し、効率的にセッションに組み込むようにも工夫している。
2	公費クラスと私費クラスの並行実施	私費クラス利用児童は、公費クラスを併用されることが多く、公費クラスの内容との差別化をするため、私費クラス独自の内容を工夫して提供している。	公費との差別化を図るにあたり、【事業所の弱み】欄にも記載の通り、運動用具の充実が望まれる。
3	週7での開校	利用者にとっては選択の幅が広がる。また、急な欠席の場合であっても、どの曜日にも振替利用をご案内することが可能となり、この点も利用者にとってはメリットと考えられる。	【事業所の弱み】欄にも記載の通り、利用者にとってはメリットである一方、校舎側にとっては週7開校により運営が難しい現状があるため、さらなる充実を図ることは難しいと考えられる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員不足	絶対数不足ゆえに他校舎からの応援の指導員が関わることが少なく、結果として各児童の特性を十分に理解した上での支援が難しい状況がある。また、事務作業も滞りがちになっている。	指導員の充足化/指導員が長く勤務できるような(早期離職を防止するような)有形・無形の予防的・継続的な従業員支援体制の構築/週7開校により、ただでさえ不足しがちな指導員の出勤が分散し、他校舎の指導員の助力を求めないと運営できず、指導員全員が揃わないことによる業務の非効率化も避けられない状況であることから、開校日数を減らすことは1つの改善策となり得ると考える。
2	業務マニュアルの不備	日々の細かい事務作業につき、マニュアルが存在しないことが少なく、口頭のみで伝達せざるを得ないことで、内容が個人的になったり、結果的に多くの時間を費やしたりしてしまう現状がある。	頻度の高い業務から少しずつマニュアルを作成する必要がある。
3	運動用具の種類不足	手作りで対応している運動用具も少なく、結果として児童の潜在的な運動能力を最大限引き出せない可能性も考えられる。	頻度の高い運動メニューと各児童の課題を総合し、費用対効果が高い用具から順に購入を検討する。